

【安全上のご注意】

⚠ 警 告		この表示を無視して誤った取り扱いをすると 死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。	
⚠ 厳守	器具の取付けは、説明書に従い確実に 行なってください。→器具の取付けに不備があると火災・感電・落下によるけがの原因になります。	🚫 分解禁止	器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。→火災・感電・落下によるけがの原因になります。
🚫 禁止	このような場所には取付けないでください。 この器具は直付・壁付・床置取付可能器具です。不安定な場所やベニヤ板などの強度の弱い場所、使用後のネジ穴には取付けないでください。 →器具の落下によるけがの原因になります。	🚫 禁止	器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込まないでください。→感電・故障の原因になります。
		⚠ 厳守	器具を布や紙などでおおって使用しないでください。→火災の原因になります。
			異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってください。→放置しますと火災・落下によるけがの原因になります。工事店・電器店にご相談ください。
			施工は電気工事士の有資格者が電気設備の技術基準・内線規定に従って行ってください。

⚠ 注 意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。	
🚫 接触禁止 点灯中や消灯直後は器具が高温のため触らないでください。→やけどの原因になります。	⚠ 厳守 表示された電源電圧(AC100V/AC200V/ AC242V)以外の電源で使用しないでください。 →火災・感電の原因になります。 照明器具の耐用年限は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な使用状態で8～10年が目安です。 数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。→放置すると、火災・感電・故障の原因になります。 照明器具の耐用年限を越えた長期使用や異物混入のまま使用しないでください。 照明器具の耐用年限を越えた長期使用により、合成樹脂材料の変色・黒化に至る場合があります。黒化は、経年劣化(周囲温度、湿度、紫外線、ほこりや虫などの付着部への光の集中等)による変色・黒化です。 燃焼現象ではありません。
🚫 水ぬれ禁止 この器具は非防水です。湿気の多い場所や屋外では使用できません。→火災・感電の原因になります。	
🚫 禁止 ガス機器など、温度が高くなるものの近くへの取付けや、器具の近くにストーブなどの高温のものを置かないでください。また、燃えやすいものを近づけて使用しないでください。→火災の原因になります。 周囲温度5～35℃、湿度45～85%の環境以外では使用しないでください。→火災・感電の原因になります。 使用条件と異なる環境で使用すると、合成樹脂材料の変色が促進される場合があります。	
⚡ アース工事 アース端子(線)がついている器具は必ず電気設備の技術基準に従って、接地(アース)工事を行なってください。→アースが不完全な場合、感電の原因になります。	

■ 定格

型 番	器具長さ	質量	定格電圧	入力電流 (100V/200V/242V)	消費電力 (100V/200V/242V)	送り容量
XH55274・XH55275 XH55276・XH55277 XH55278	1500mm	1.4kg	AC100V AC200V AC242V	0.33A/0.17A/0.14A	32.6W/31.9W/31.7W	最大 6Aまで
XH55279・XH55280 XH55281・XH55282 XH55283 XH55309	1200mm	1.3kg 1.7kg		0.27A/0.14A/0.12A	26.6W/26.2W/26.0W	
XH55284・XH55285 XH55286・XH55287 XH55288	900mm	1.1kg		0.21A/0.11A/0.09A	20.2W/20.0W/19.9W	
XH55289・XH55290 XH55291・XH55292 XH55293	600mm ※単体専用	0.9kg		0.15A/0.08A/0.06A	14.1W/13.9W/14.0W	

お客様ご相談窓口のご案内	
修理・お手入れ・お取り扱い・工事などのご相談は、まずお買い求めの販売店・工事店へご依頼ください。 (ご購入品やご転居などでお買い求めの販売店・工事店へご依頼にれない場合は型番をご確認の上、下記へご連絡ください。)	

製品・お取り扱いなどのご相談は		修理・アフターサービスのお問い合わせは	
お客様相談室		サービスセンター	
ナビダイヤル (全国共通番号)	電話 0570-055123	ナビダイヤル (全国共通番号)	電話 0570-015123
			FAX 0570-025123
受付時間：9:00～17:00 (土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏季休暇を除く)		受付時間：9:00～17:00 (土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏季休暇を除く)	

●ご注意：所在地、電話番号、受付時間などが変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

愛情点検		★長年ご使用の照明器具の点検を！	
	ご使用の際 このような 症状は ありませんか	●スイッチを入れても、時々点灯しないときがある。 ●プラグ、コード、本体を動かすと点滅する。 ●プラグ、コード、本体などが異常に熱い。 ●こげくさい臭いがする。 ●コードに傷や傷みが見られる。 ●グローブ、セードなどにひびが見られる。	ご使用中 止
		故障や事故防止のため、電源 スイッチを切り、必ず販売店 に点検、修理を依頼してくだ さい。	

⚠ 安全に 関する ご注意	●照明器具及び関連機器には耐用年限があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。 点検・交換をおすすめします。(周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯の場合) ●周囲温度が高い場合や点灯時間が長い場合は、耐用年限が短くなります。 ●3年に1回は、工事店などの専門家による点検をお受けください。点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。
------------------------	---

コイズミ照明器具 保証書		※お客様へ
＜ 保 証 に つ い て ＞ 1. 取扱説明書、本体添付フベルなどの注意書きに沿った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。 2. 保証期間は製品お買い上げ日より1年間です。但し、LED電源、LEDモジュール、LED電球は3年間です。 3. グロー点灯管・電池などの消耗品は、対象外といたします。 4. 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。 5. 保証期間でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。 (1)使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷 (2)お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷 (3)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷 (4)車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷 (5)施工上の不備に起因する故障や不具合 (6)法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷 (7)保証書及び領収書あるいは販売店様発行の保証書のご提示のない場合 6. 保証書は日本国内においてのみ有効です。 7. 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。		保証書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と合わせて大切に保管してください。 ＜アフターサービスについて＞ 1. 保証期間中に万一故障がおきた場合は、保証書を添えて、お買い上げの販売店・工事店までお申し出ください。 2. 保証期間を過ぎていたときは、お買い上げの販売店・工事店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。 3. 販売店・工事店にご依頼にならない場合や修理についてのご相談は弊社サービスセンターにご連絡ください。 4. 弊社は照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後最低6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。 従いまして主に電気部品が中心でセードなどの意匠部品は対象外です。 ※保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものではありませんので、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理や、製品・修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店・工事店またはコイズミ照明「お客様相談室」・サービスセンターにお問合せください。
保証期間(お引き渡し日より)本体：1年間 LED電源/モジュール/LED電球：3年間		取扱販売店名・工事店名・住所・電話番号
お買上年月日		
お 客 様	お名前	
	ご住所	
	電話 ()	
		※This warranty is valid only in Japan.

■もくじ

・安全上のご注意・・・・・・・・表紙	・使用上のご注意・・・・・・・・P7
・定格・・・・・・・・表紙	・LEDユニットについて・・・・P7
・施工前の確認・・・・・・・・P2	・器具のお手入れ・・・・P7
・施工手順(連結施工)・・・・P3～P5	・お問い合わせ先・・・・裏表紙
・施工手順(単体施工)・・・・P3、P6～P7	・保証書・・・・・・・・裏表紙

■施工前の確認

1 器具重量に耐えられるよう、取付部の強度を確保する

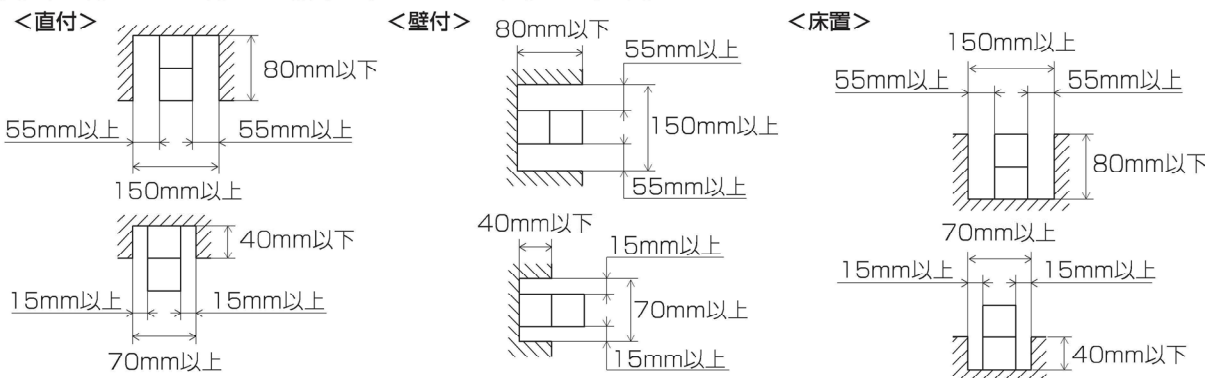
石膏ボードなどの補強が無い場所に取付けをされた場合、器具の落下や異音の発生の原因になります。
取付ボルトはW3/8またはM10を使用する。(ボルト出し:15mm)

2 取付面がクロス貼りの場合

接着剤が十分に乾燥してから器具を取付ける。
変色やサビの原因になります。

3 設置場所を確認する

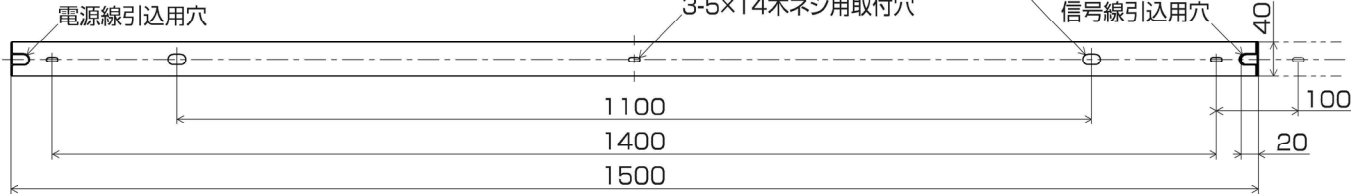
間接照明として取付ける場合は下図の施工最小寸法の間隔をあける。



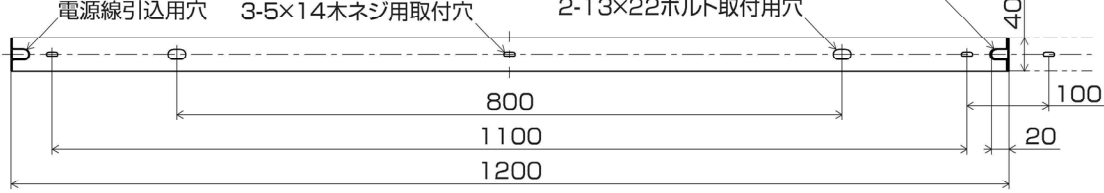
4 取付けピッチ

下図は器具を取付方向から見た図です。

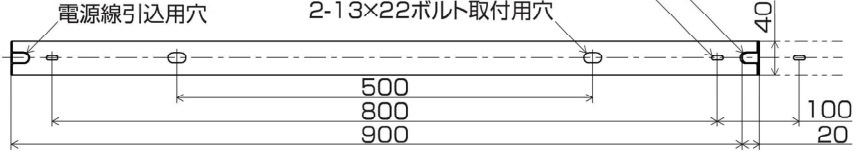
＜1500タイプ＞



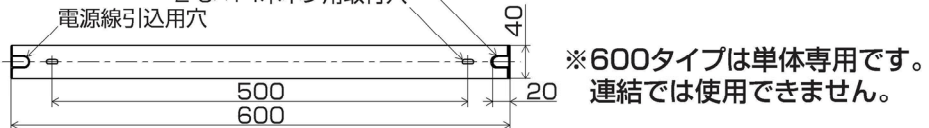
＜1200タイプ＞



＜900タイプ＞



＜600タイプ＞

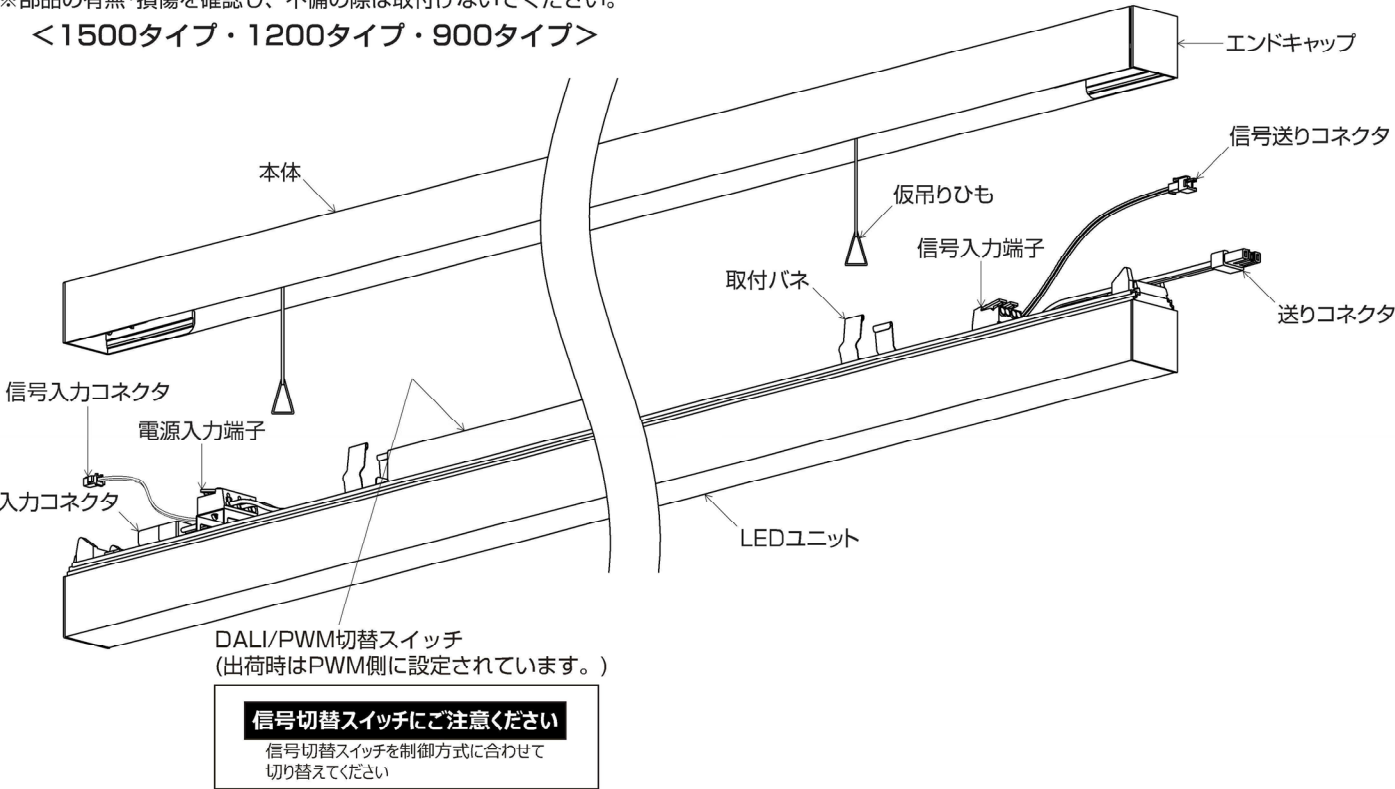


5 器具の取付は2人で作業する(1500タイプのみ)

器具の落下によるけがの原因になります。

■施工手順 △注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けしないでください。
＜1500タイプ・1200タイプ・900タイプ＞

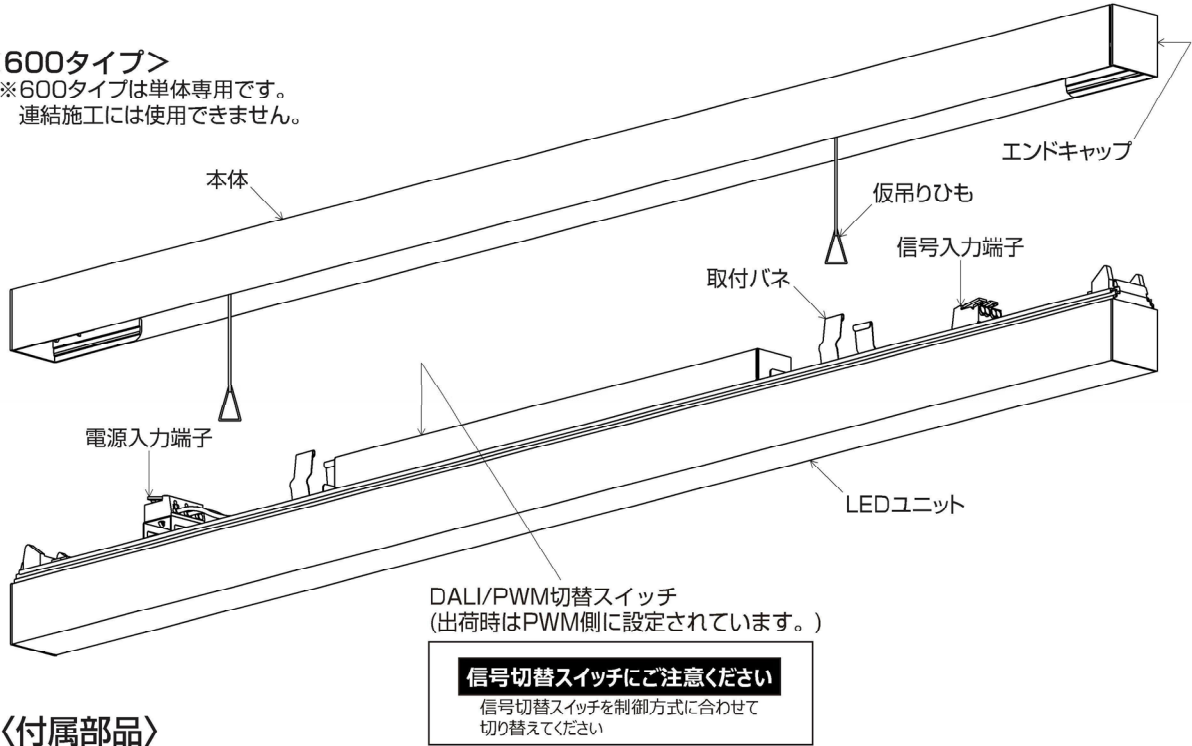


＜付属部品＞

- 取付ネジ・・・・・・ 3本(1500タイプ・1200タイプ)
2本(900タイプ)
 - 連結キャップ・・・・・・ 1個
 - 灯具連結キャップ・・・・ 1個
- 単体施工および、連結施工の終端器具として
使用する場合この付属部品は使用しません。

＜600タイプ＞

※600タイプは単体専用です。
連結施工には使用できません。



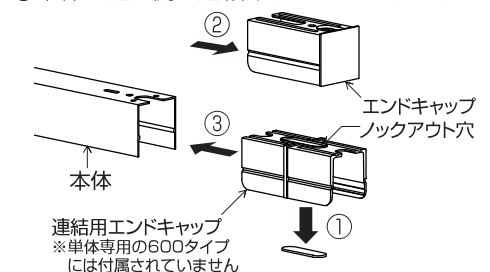
＜付属部品＞

- 取付ネジ・・・・・・ 2本

<連結取付の場合>

1 本体の連結準備

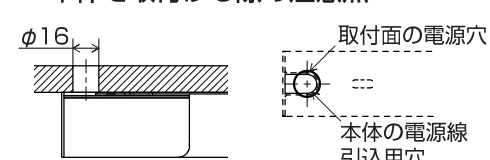
- ①信号線を引き込む穴を一か所空けておく。
- ②連結する部分のエンドキャップを全て取外す
- ③本体の送り側に連結キャップをセットする



2 電源線・信号線の引込み

3 本体の取付

本体を取付ける際の注意点



取付面に電源穴φ16をあけ、本体の電源線引込用穴と合わせてください。電源線をスムーズに取付面内部に戻せなくなり、LEDユニットが浮く原因になります。

<取付ネジで取付ける場合>

付属の取付ネジで取付けてください。

<ボルトで取付ける場合>

ボルトにワッシャ(市販品)、六角ナット(市販品)で仮締めをする。

※本体の連結前に六角ナットの本締めをすると、本体の連結ができなくなるおそれがあります。

必ず本体の連結後に本締めを行なってください。

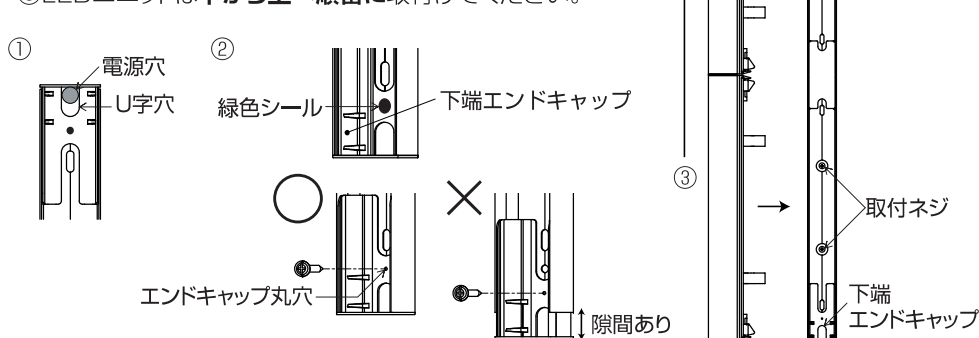
※ボルト出し:15mm

<縦連結する場合>※連結台数は4台まで

①上側から給電する場合は、下図のように電源穴がU字穴上端に接するように取付けて下さい。

②LEDユニットのずれ落ち防止のため、下図のように**下端エンドキャップのみ**本体に隙間なく取付け、緑シールをはがし下端エンドキャップ丸穴をビス止めしてください。

③LEDユニットは**下から上へ順番**に取付けてください。



4 本体の連結

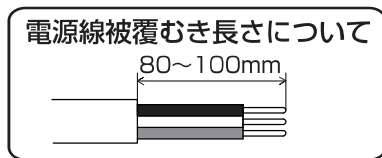
5 連結する場合、3・4を繰り返す

ボルト取付の場合は連結キャップを取付けた後に、必ず「3 本体の取付」で仮絞めをした六角ナットを本締めをする。

※確実に取付いたことを確認してください。

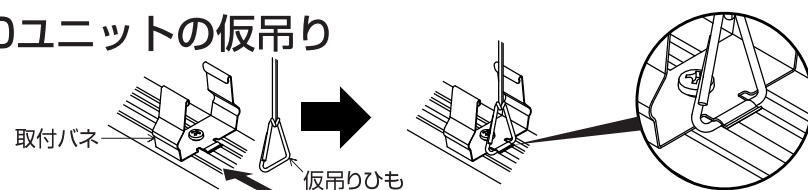
取付が不完全な場合、落下によるけがの原因になります。

<施工概略図>



※600タイプは単体専用です。連結取付では使用できません。

6 LEDユニットの仮吊り



7 電源線の接続

<1台目>

右図のように電源線の被覆を指定の長さでむき、電源入力端子に確実に差し込む。外すときは解除ボタンを押しながら、電源線を抜く。

⚠ 警告 電源の接続を確実に行ってください。接続が不完全な場合や容量オーバーした場合は、火災・感電の原因になります。

※D種(第三種)接地工事を行なう。

<2台目以降>

送りコネクタと入力コネクタは左図の向きに合わせて確実に差し込む。

(送り総容量6A)

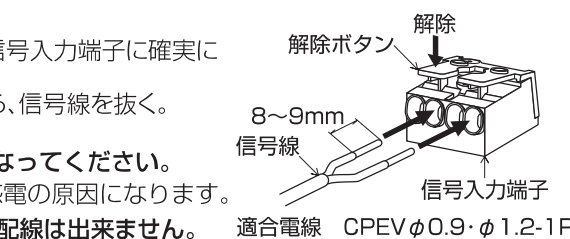
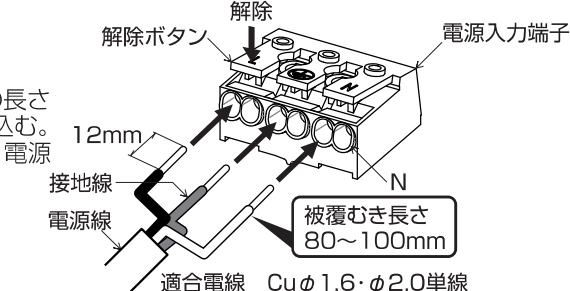
8 信号線の接続

<1台目>

右図のように信号線の被覆をむき、信号入力端子に確実に差し込む。はずすときは解除ボタンを押しながら、信号線を抜く。

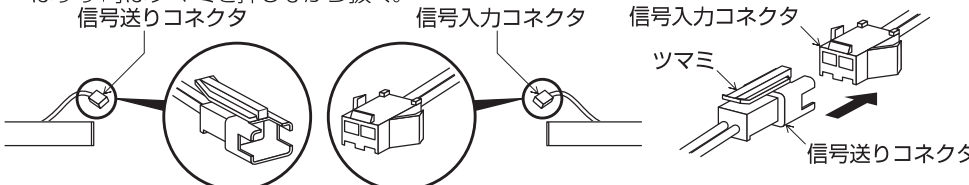
⚠ 警告 信号線の接続を確実に行ってください。接続が不完全な場合は、火災・感電の原因になります。

※信号入力端子による信号線の送り配線は出来ません。



<2台目以降>

信号送りコネクタと信号入力コネクタは下図の向きに合わせて確実に差し込む。はずす時はツマミを押しながら抜く。



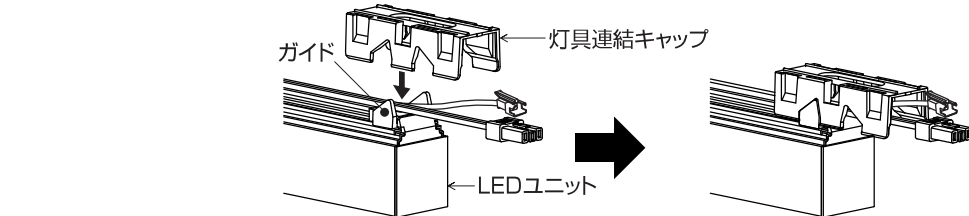
<DALI信号で調光する場合>

DALI/PWM切替スイッチをDALI側に切り替える。

※出荷時はPWM側に設定されています。

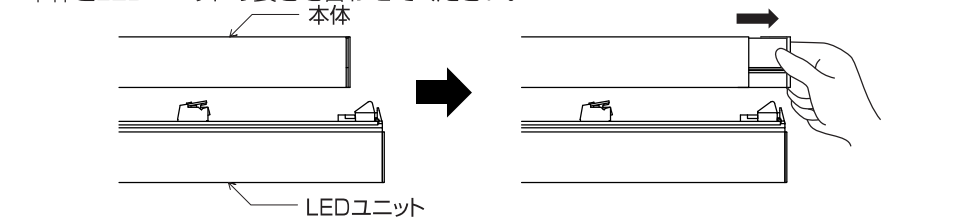
9 連結部の準備

灯具連結キャップをLEDユニットのガイドにはめ込む。



10 LEDユニットの取付

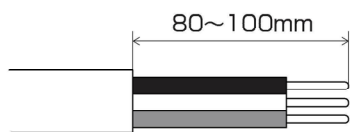
終端のLEDユニットを取付けるときはエンドキャップを手で引き出して本体とLEDユニットの長さを合わせてください。



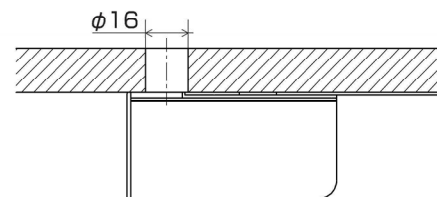
11 点灯の確認を行なう

<単体取付の場合>

電源線被覆むき長さについて



1 電源線・信号線の引込み 2 本体の取付



取付面に電源穴φ16をあけ、本体の電源線引込用穴と合わせてください。
電源線をスムーズに取付面内部に戻せなくなり、LEDユニットが浮く原因になります。

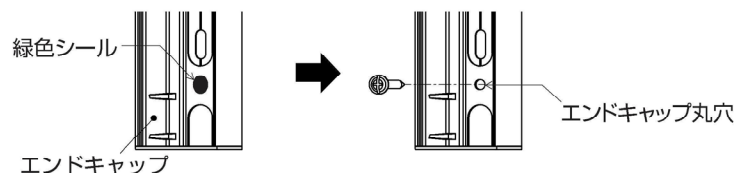
<ボルトで取付ける場合>

ボルトにワッシャ(市販品)、六角ナット(市販品)で取付ける。
※ボルトで取付ける場合のボルト出し：15mm

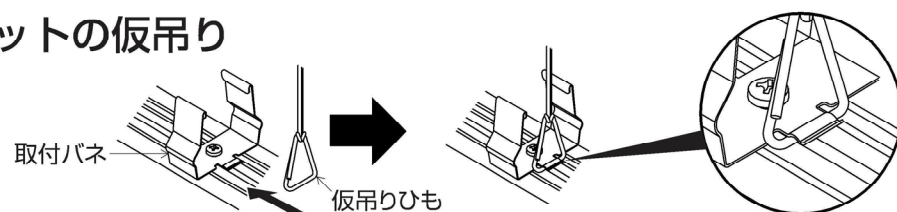
<取付ネジで取付ける場合>

付属の取付ネジで取付けてください。

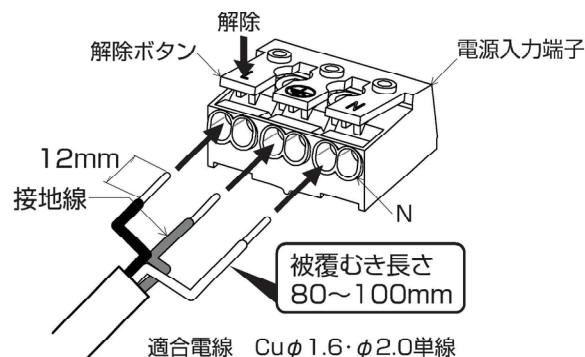
※縦取付けをする場合は、緑色シールをはがし、下端
エンドキャップの丸穴をビス止めしてください。
器具の落下によるけがの原因になります。



3 LEDユニットの仮吊り



4 電源線の接続

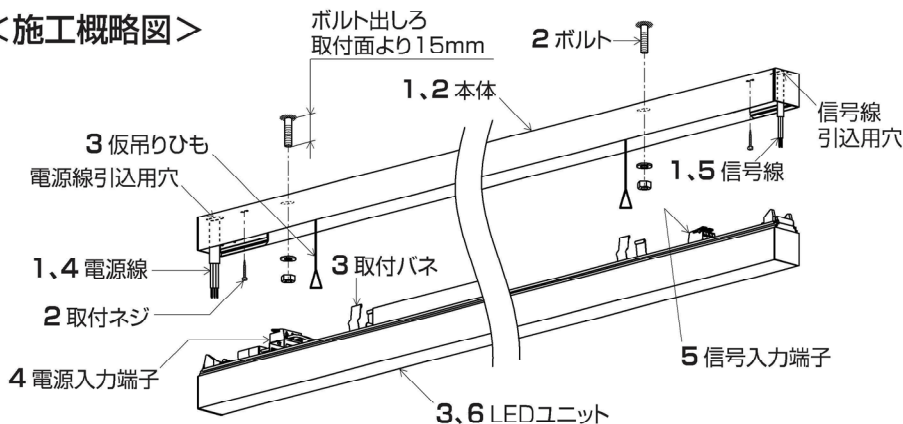


左図のように電源線の被覆を指定の長さでむき、電源入力端子に確実に差し込む。
外すときは解除ボタンを押しながら、電源線を抜く。
(送り総容量6A)

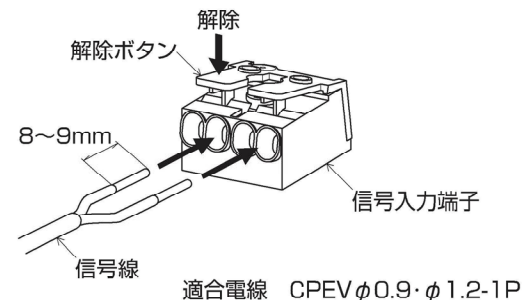
⚠ 警告 電源の接続を確実に行ってください。
接続が不完全な場合や容量オーバーした場合は、火災・感電の原因になります。

※D種(第三種)接地工事を行なう。

<施工概略図>



5 信号線の接続



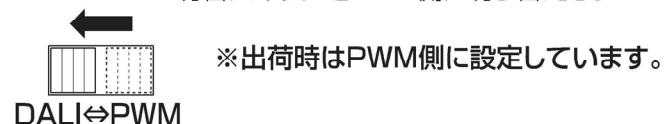
左図のように信号線の被覆をむき、信号入力端子に確実に差し込む。

はずすときは解除ボタンを押しながら、信号線を抜く。

⚠ 警告 信号線の接続を確実に行ってください。
接続が不完全な場合は、火災・感電の原因になります。

<DALI信号で調光する場合>

DALI/PWM切替スイッチをDALI側に切り替える。



6 LEDユニットの取付

7 点灯の確認を行なう

⚠ 器具の取外しは工事店・電器店に依頼してください。→感電の原因になります。

■使用上のご注意

- 器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。
器具とコントローラ受信部を離してご使用ください。
- 器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入る場合があります。
器具と音響製品を離してご使用ください。
- 点灯および消灯後に器具構成材料の熱伸縮により若干のきしみ音が発生することがありますが、異常ではありません。
- 調光器(別売)を使用しての調光時、および器具取付場所により、器具からのうなりが聞こえる場合がありますが、故障ではありません。
- 電源OFF時に表示が点灯するタイプのスイッチを使用する場合、壁スイッチの使用は4個までとしてください。
壁スイッチを5個以上使用される場合は、表示が点灯するタイプ以外のスイッチを使用してください。
- 調光器(別売)と組み合わせて使用する際は、必ず当社指定の調光器(別売)をご使用ください。チラツキ・誤作動の原因になります。

■LEDユニットについて

- 光束維持時間は40,000時間です。
光束が70%以下になるか、不点灯になるまでの時間で、照明器具の保証寿命とは異なります。
- LEDのみの交換はできません。
- LEDは輝度が高いため、直視しないでください。
- LEDにはバラツキがあるため、同一型番でも発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。
- 電源ON時にスイッチが点灯する表示付スイッチに使うと、表示が暗くなったり点灯しないことがあります。

■器具のお手入れ ⚠ 注意 器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

- 明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
- 器具の汚れは乾いた柔らかい布か薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。
シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。